

# 日医報告

## 平成29年度 日本医師会医療情報システム協議会

副会長 藤原 秀俊

去る2月3日(土)・4日(日)の2日間にわたって、平成29年度日本医師会医療情報システム協議会が日医会館大講堂で開催され、総数445名(講師等関係者含む)のご参加を賜りました。北海道医師会はこの企画担当県として携わり、長瀬会長は協議会運営委員会委員長として全体統括を、私は運営委員会副委員長を拝命し、企画の立案を行いました。

メインテーマは「未来につながる日医IT戦略」としました。

一日目は「改正個人情報保護法の医療現場への影響について一特に医療・介護連携において」と題し、主に患者さんへのネットワーク参加同意の部分と、

セキュリティに関する活発な議論が行われました。今回はシンポジストの講演を聞き、質疑応答をするという従来の進め方を変更し、指定発言という形で行いました。

二日目の午前は「日医のIT戦略」と「各地域の事例報告セッション」を、午後は「AIによって変わる医療の未来」と題し、最近話題となっているAIを取り上げました。AIはどこまで進んで、医療に対してどのように影響を及ぼすのか?という内容です。

今年度の運営委員会企画担当県となって感じたことは、運営委員会は10人の運営委員で構成されているのですが、各委員の知識が飛び抜けています。また協議会でもかなり専門的で活発なご意見が出され、有意義な協議会であったと思います。

各セッションの詳細に関しては誌面の都合上、省略させていただきますが、当日の講演資料および動画は日医ホームページのメンバーズルームに掲載されておりますので、ご興味のある日医会員の皆様はぜひご覧ください。

最後になりましたが、本協議会を開催するにあたり、長瀬会長、運営委員会の皆様、日医役職員の皆様のおかげで無事、閉幕することができました。また、昨年の北海道医報・釧路通信特集にてご寄稿いただきました道内医療ネットワーク関係者の皆様にも、この場を借りて改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

